

## 「一般財団法人山形県バスケットボール協会賛助基金」募集趣意書

本協会は、前身である「山形県バスケットボール協会」の歴史を引き継ぎ、「一般財団法人山形県バスケットボール協会」として、「公益財団法人日本バスケットボール協会」のガバナンスの下に設立し4年目となり、さらなる本県スポーツ文化とバスケットボール界の発展のため、専心努力いたす所存でございます。

今、JBAでは『バスケットボールで日本を元気にします』を理念に掲げています。その趣旨は、日本中でバスケットボールを楽しむ人が増え続けること、バスケットボールで楽しめる環境が充実していくこと、そしてその中から日本代表選手が生まれ日本人選手が世界で活躍すること、それが日本社会を元気にしていくこと、という考えが込められています。さらに、単にバスケットボール競技が盛んになるというだけでなく、その周りにおられる家族や友人、地域コミュニティなどすべての人々が一緒に、元気になることを願っています。

FIBAより東京2020への日本の出場が認められたり、Bリーグの隆盛がメディアに大きく報じられていることは大変喜ばしいことですが、バスケットボールはまだ『AKATSUKI』であり、さらなる大きな進化を遂げなければなりません。山形県協会は、これからも『変革しなければ進化はない』を念頭に置き、新たな時代に対応し、5人目のオリンピアンの誕生に期待して、新たな瞬間への挑戦と献身的な協会運営の推進、そして熱意あふれる丁寧な指導こそが時代を切り拓き、発展に繋がるものと考えております。

山形県は、これまで国民体育大会並びに各カテゴリーにおいて優勝やそれに準ずる成績を収めており、これらの活躍は県民に元気と活力を与えていたりだけでなく、青少年の健全育成に大きな役割を果たしていると確信をしています。

つきましては、本県バスケットボールのさらなる発展に向けて、より多くの県民の皆様から御支援をいただきながら、「強い。山形県」を目指し基金を運用してまいりますので、今年度におきましても、バスケットボール経験者や愛好者をはじめ、経済界など多くの県民の皆様から御理解と御賛同を賜りますようお願い申し上げます。また、各種大会の開催日程や組み合わせをHPで公開をしていますので、会場にお越しいただき、さらなる応援を賜りますよう併せてお願い申し上げます。

なお、贊助基金は本県バスケットボールの競技力向上のために活用し、その収支につきましては、御協力を頂いた皆様にも御報告することを申し添えます。

平成31年4月吉日

一般財団法人山形県バスケットボール協会  
会長 大神訓章